

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和6年6月20日（木）

### 2 確認箇所

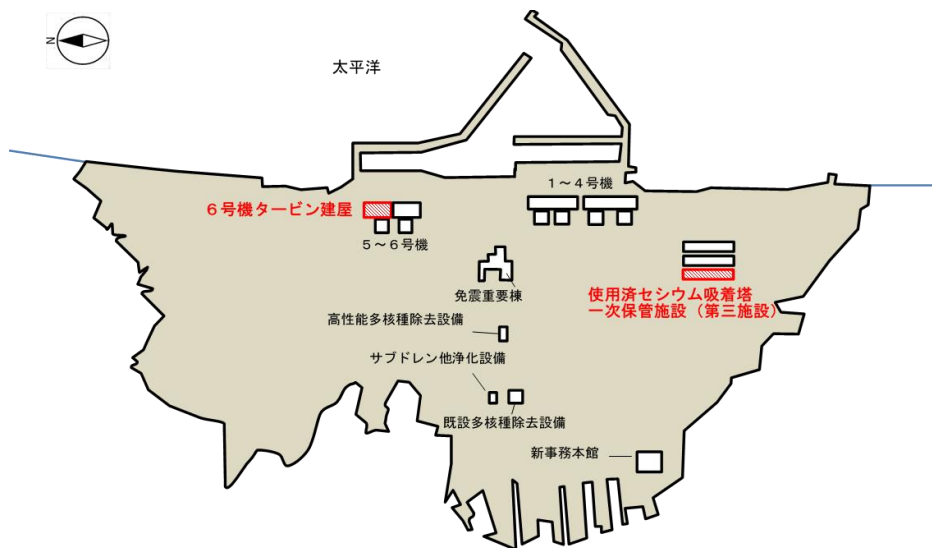
- (1) 使用済セシウム吸着塔一時保管施設（第三施設）（図1）
- (2) 6号機タービン建屋（図1）

### 3 確認項目

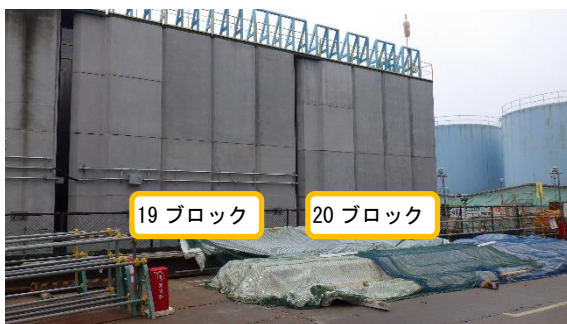
- (1) 使用済セシウム吸着塔一時保管施設（第三施設）増設工事の実施状況
- (2) 6号機タービン建屋地下における火災報知器作動に係る現場の状況

### 4 確認結果の概要

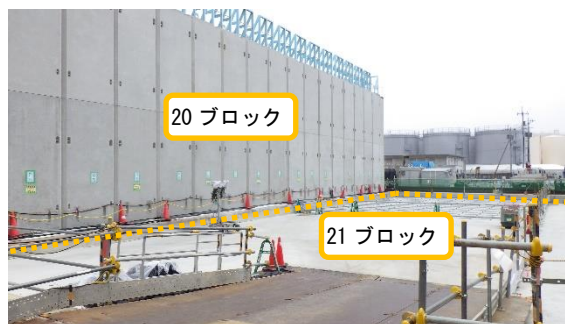
- (1) 多核種除去設備（ALPS）から発生するスラリー及び吸着材等の廃棄物は、ポリエチレン製容器（以下「HIC」という。）に収納され、構内に一時保管されている。HICの一時保管施設であるセシウム吸着塔一時保管施設（第三施設）の増設工事が進められていることから、その進捗状況を確認した。（前回調査：[令和6年4月30日](#)）
  - ・ HICを格納するためのボックスカルバートの設置が進められていた。ボックスカルバートは4列×16行×3段積みをも1ブロック単位として既に20ブロック設置しており、21ブロック目のコンクリート基礎が打たれていた。（写真1）
  - ・ 確認した範囲において、ボックスカルバートからの液体等の漏えいはなかった。
- (2) 東京電力から通報があった6号機タービン建屋地下の火災報知器作動について、現場を確認した。焼損箇所は高所にあり、目視確認はできなかったが、高圧電源ケーブルの筐体に火災で生じたと思われるすすが付着していることを確認した。（写真2）



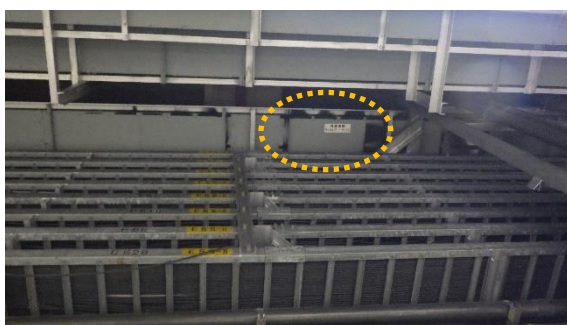
(図 1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真 1 ①) 第三施設外観



(写真 1 ②) 21 ブロックコンクリート基礎



(写真 2 ①) 焼損箇所



(写真 2 ②) 写真 2 ①拡大

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常値は確認されなかった。